

No.	008	—	1003	事務事業名	各種健康診査事業										公的関与	4
PLAN	課名	健康推進課		係名	成人保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	平成 16 年度 ~		期間設定なし			
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	3 成人保健の推進					
	事業の目的	各種健康診査やがん検診を行い、生活習慣病の予防及び健康寿命を延伸させるため。また、がん検診の受診率及び精密検査受診率を向上させ、がんの死亡率低下を図るため。						根拠法令等	健康増進法、高齢者の医療の確保に関する法律							
	事業の手段	ナッジ理論を用いた受診勧奨や、要精検者に対する訪問や文書での受診勧奨を行い、受診率を向上させます。また、ICTを活用した健診予約により、受診者の利便性を向上させ、受診しやすい環境を整えます。						掲載計画	東温市健康増進計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
		健康診査受診者数(30歳代、生保、後期健診)		受診者数				人	目標 1,500	1,500	1,500	1,500				
		がん検診受診率(40歳～69歳)		国保受診者数/国保対象者数				%	目標 肺20、胃15、大腸20、子宮20、乳30 実績 肺20、胃15、大腸20、子宮20、乳30	肺20、胃15、大腸20、子宮20、乳30	肺20、胃15、大腸20、子宮20、乳30	全て50%以上				
		がん検診精密検査受診率		精密検査受診者数/要精密検査対象者数				%	目標 肺21、胃14、大腸23、子宮8、乳14 実績 肺85、胃89、大腸86、子宮88、乳100	肺23、胃15、大腸25、子宮12、乳14	100	100				
										実績は令和8年度に報告						
DO	活動内容	①	健康診査事業:30歳代、生活保護、後期高齢者(受託)健診				④									
		②	がん検診等事業:肺(X線・CT・喀痰)・胃・大腸・子宮頸・乳・前立腺がん検診				⑤									
		③	ドック健診事業:いのとんドック(1日ドック)、いのとんミニドック(半日ドック)													
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費						
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備考							
		国・県支出金	1,014 千円		1,212 千円		1,586 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	12,471 千円		2,439 千円		3,042 千円									
		一般財源	43,502 千円		48,449 千円		53,028 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.842 人	11,671 千円	1.599 人	10,294 千円	1.599 人	10,294 千円								
臨時職員工数・経費		0.256 人	536 千円	0.256 人	572 千円	0.256 人	572 千円									
全体事業費(A+B)		69,194 千円		62,967 千円		68,523 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	成人保健係	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善		
	項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)														
	必要性	がんの早期発見・早期治療による死亡率低減と、生活習慣病の重症化を防ぐため、国の指針に基づく検診を今後も引き続き行っていくことが必要です。														
	有効性	目的実現のために適切な事業内容であり、他の施策と重複していません。受診環境の拡大や、受診項目の追加を行いながら事業を継続しています。														
	達成度	目標には満たないものの、個別健診やドック健診等受診者の選択肢が増えたことで、個人に合った方法で受診が可能になり、徐々に受診者数が増加しています。														
	効率性	ナッジ理論や国が推奨している様式を活用した文書で個別勧奨を行っています。今後はWEB予約の利用推進により、予約事務に係る人件費の費用削減ができる可能性があります。														
	当面の課題	受診率が伸び悩んでいるため、検診受診の必要性を周知する必要があります。														
	改 革 計 画	健康教室等他の事業で、がん検診受診の必要性について説明を行います。結果を返却する際に、継続受診の重要性について説明を行います。予約方法や日程、会場の設定等市民の意見を取り入れながら環境を整えます。														
	二次評価者	健康推進課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善		
	二次評価での指摘事項		効果的な受診勧奨や動機付けにより受診率が改善傾向にあります。更なる受診率の向上のため、個別健診や施設健診の受診者を増やすなど実施方法についての検討が必要です。													

No.	008	—	1006	事務事業名	精神保健福祉事業										公的関与	4			
PLAN	課 名	健康推進課		係 名	成人保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp								
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	平成	2	年度	～	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	4 精神保健の推進								
	事業の目的	健康増進計画に基づき、精神障がい者の社会活動への参加促進と、住民のこころの健康づくり及び精神保健福祉に関する正しい知識の普及、啓発を図るため。						根拠法令等	健康増進法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律										
	事業の手段	精神障がいを持つ当事者や家族などの相談や訪問、精神障がい者デイケア「青空」の実施、精神保健に関する教室の開催等を行います。						掲載計画	東温市健康増進計画、東温市自殺対策計画										
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和	5	年度	令和	6	年度	令和	7	年度	最終目標
		相談（来所・電話）及び訪問の延べ件数		精神保健に関する相談及び訪問の延べ件数				件		目標	250		300		300		330		
									実績	305		219							
		デイケア「青空」の実施		実施回数				回		目標	42		42		42		42		
									実績	42		42							
								目標											
								実績											
DO	活動内容	①	相談（来所・電話）及び訪問						④	東温市精神保健地域家族会「とうおん会」活動支援									
		②	精神障がい者デイケア「青空」の実施						⑤	精神保健家族教室の実施									
		③	精神保健ボランティア「ほのぼの」活動支援																
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費							
	直接事業費		令和		5	年度決算	令和		6	年度決算	令和		7	年度予算	備 考				
		国・県支出金			0	千円			0	千円			0	千円					
		地方債			0	千円			0	千円			0	千円					
		その他特定財源			9	千円			8	千円			10	千円					
		一般財源			94	千円			87	千円			150	千円					
	計（A）			103	千円			95	千円			160	千円						
人件費（B）	正職員工数・経費	0.678	人	4,296	千円	0.678	人	4,365	千円	0.678	人	4,365	千円						
	臨時職員工数・経費	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円						
全体事業費（A＋B）		4,399				千円	4,460				千円	4,525				千円			
CHECK・ACTION	一次評価者	成人保健係		総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持				
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）																	
	必要性	社会構造の変化によって、こころの不調を抱える人は増加しています。精神疾患を持つ方やその周囲の方が安心して地域で生活するために、公的な支援体制の維持・向上が必要です。																	
	有効性	市民の健康づくりの推進に、精神保健は不可欠であるため、継続して実施していく必要があります。関係機関との連携を図りながら、事業方法、内容の検討を行っていきます。																	
	達成度	必要に応じて、福祉サービスや医療機関等につなぐことができています。相談件数、訪問件数の大きな変動はありませんが、困難事例が増えています。																	
	効率性	訪問等は、関係機関と連携しながら、職員を主体に低コストで実施しています。困難事例や、緊急時の対応等については、状況に応じて見直しをする必要があります。																	
	当面の課題	市民の健康づくりを推進するに当たり、精神保健はますます重要になっています。また、個々の困難事例も増加しています。																	
	改 革 画	関係機関との連携を図り、多職種の専門的知見を参考にしながら事例に対応します。																	
二次評価者	健康推進課長		総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持					
二次評価での指摘事項		相談、訪問及びデイケアを通じて、精神障がい者の社会参加を支援しています。今後は、増加する困難事例については、関係機関との連携をますます強化して対応する必要があります。																	

No.	008	—	2001	事務事業名	母子各種健康診査事業										公的関与	4
PLAN	課名	健康推進課		係名	母子保健係		電話番号	089-964-4407			メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp				
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	該当		事業期間	平成	16	年度	～	期間指定なし
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	2 母子保健の推進					
	事業の目的	妊娠・出産・育児期の母子健康診査を通して、母性・父性の育みを支援し、乳幼児の健やかな心身の成長を目指すため。						根拠法令等	母子保健法							
	事業の手段	妊娠期からの早期介入を通して、安心して出産・育児ができるよう支援します。						掲載計画	東温市健康増進計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		1歳6か月児健康診査の受診率	受診者数/対象者数				%		目標	98	98	98	98			
									実績	97	89					
		3歳児健康診査の受診率	受診者数/対象者数				%		目標	98	98	98	98			
									実績	100	96					
育てにくさを感じた時に相談先を知っている割合	相談先を知っている者の数/3歳児健康診査で育てにくさを感じている者の数				%		目標	90	90	90	90					
							実績	80	76							
DO	活動内容	①	母子健康手帳等の交付と妊娠アンケートを実施し、妊娠期からの健康づくりを支援					④	健康診査の実施後子育て相談をした人数							
		②	妊産婦一般健康診査					⑤	育児相談教室の利用人数							
		③	乳児一般健康診査													
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備考							
		国・県支出金	2,355 千円		1,729 千円		2,647 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	27,667 千円		24,579 千円		31,071 千円									
	計(A)	30,022 千円		26,308 千円		33,718 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	2.758 人	17,475 千円	2.758 人	17,756 千円	2.758 人	17,756 千円									
	臨時職員工数・経費	1.012 人	2,118 千円	1.012 人	2,262 千円	1.012 人	2,262 千円									
全体事業費(A+B)		49,615 千円		46,326 千円		53,736 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	母子保健係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善	
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）														
	必要性	妊産婦及び乳幼児の健康診査は、多様な生活状況にある市民が、地域格差なく広域的な連携や切れ目ない支援を公平かつ専門的に行うために行政が実施する必要があります。														
	有効性	母子保健法等に準じた実施方法であり、適切に実施しています。健康診査実施後の支援方法等は、長期間に渡り継続している事業であり、連携先の増加や、育児環境の変化に応じた体制を検討する必要があります。														
	達成度	1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査の受診率は、近年母親の就業率の上昇や施設入所年齢の低下、市外施設入所者の増加などが受診率低下に影響しています。														
	効率性	令和6年度から母子健康手帳アプリを導入し、情報配信・予約・アンケート提出・健診結果入力などを電子化することで省力化を図ります。														
	当面の課題	1歳6か月児健康診査及び3歳児健康診査の受診率と相談先を知っている者の割合の向上が課題です。SNSやアプリを利用したプッシュ通知等を利用し、さらなる周知が必要です。														
	改 革 計 画	母子健康手帳アプリの登録率を上げることで利用者の利便性を向上させ、子育て世代に必要な情報を発信します。また、対面による保護者に寄り添った支援・相談も継続して行います。														
二次評価者	健康推進課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善		
二次評価での指摘事項		健診事業等を継続して実施するために、電子化など新しい方法を積極的に取り入れる必要があります。														

No.	008	—	4003	事務事業名	保健衛生一般事務費（保健事業推進事務）										公的関与	7
-----	-----	---	------	-------	---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	------	---

P L A N	課 名	健康推進課		係 名	地域保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	非該当		事業期間	平成 16 年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	1 地域保健・地域医療体制の充実					
	事業の目的	みんなが元気になる健康福祉のまちづくり及び安全で快適な社会基盤のまちづくりを推進するため。						根拠法令等						
	事業の手段	衛生委員の役割や活動意義について理解を深め活動できるよう支援します。						掲載計画						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標	
		研修会開催回数		衛生委員研修会開催回数				回		目標	2	2	2	2
										実績	2	2		
		保健事業への協力		協力依頼回数				回		目標	194	192	150	150
										実績	175	167		
								目標						
								実績						
D O	活動内容	①	衛生委員研修会の開催					④						
		②	保健事業の実施協力					⑤						
		③	保健事業の周知依頼											
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費		
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考					
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円							
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円							
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円							
		一般財源	1,724 千円		1,802 千円		1,857 千円							
		計 (A)	1,724 千円		1,802 千円		1,857 千円							
人件費 (B)	正職員工数・経費	0.086 人	545 千円	0.086 人	554 千円	0.086 人	554 千円							
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費 (A + B)		2,269 千円		2,356 千円		2,411 千円								
C H E C K ・ A C T I O N	一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）												
	必要性	衛生委員は、区長から推薦を受けて委嘱され、地域の中で住民に対して健康づくり等の情報提供を担っています。しかし、衛生委員の活動や推薦が負担になっている地区もみられます。												
	有効性	身近な住民同士のコミュニティで健康づくりに関する情報提供を行う効果が期待できます。												
	達成度	市が依頼している業務について概ね協力が得られています。												
	効率性	令和5年度に委員報酬の支給基準を見直しました。												
	当面の課題	人口減少や高齢化が進んでいる地区では衛生委員の推薦が困難になっていたり、他の役員を兼務している場合もあり、地域での活動は差がみられます。												
	改 革 画	衛生委員の活動を、市が依頼している活動と地区独自の活動を整理し、今後のあり方について検討を進めます。												
	二次評価者	健康推進課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	方法改善
	二次評価での指摘事項	地域における推進役として衛生委員の協力が必要ですが、近隣市町の状況を調査し活動内容を検討していく必要があります。												

No.	008	—	4004	事務事業名	保健衛生一般事務費（健康増進計画推進事業）										公的関与	1
PLAN	課 名	健康増進課		係 名	地域保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託		実施計画	該当		事業期間	平成	20	年度	～	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち		政策項目	1 生涯健康づくりの推進		主要施策	1 地域保健・地域医療体制の充実							
	事業の目的	第2次東温市健康増進計画を推進することで市民の健康増進に寄与するため。					根拠法令等	健康増進法								
	事業の手段	市民の健康に関する課題などを協議し、計画推進のための取組を効果的にすすめるための会議を開催します。					掲載計画	東温市健康増進計画								
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標				
		健康づくり推進協議会等の開催		開催回数			回	目標	6	6	6	6				
								実績	6	6						
								目標								
								実績								
DO	活動内容	①	健康づくり推進協議会の開催				④									
		②	母子保健推進部会の開催				⑤									
		③	高齢成人保健推進部会の開催													
	予算費目	会計	一般会計			費目名	衛生			費						
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	1,037 千円		3,213 千円		224 千円									
	計(A)	1,037 千円		3,213 千円		224 千円										
人件費(B)	正職員工数・経費	1.164 人	7,375 千円	1.032 人	6,644 千円	0.800 人	5,150 千円									
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費(A+B)	8,412 千円		9,857 千円		5,374 千円											
CHECK・ACTION	一次評価者	地域保健係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善		
	項目	評 価 項 目 の 説 明（一次評価者のコメント）														
	必要性	国が示すビジョン及び県の動向を踏まえて市の計画を推進するため、関係機関と連携しながら健康づくりをすすめる必要があります。														
	有効性	計画推進期間中に事業や取組の振り返りを行い、課題を共有するとともに事業の方向性を共有して取組をすすめているため、有効に機能しています。														
	達成度	母子保健推進部会や高齢成人保健推進部会で計画の推進に係るテーマを協議し、健康づくり推進協議会で健康づくりに関する施策の進捗管理を行っています。														
	効率性	健康づくりに関する協議内容により、会議の運営について柔軟に対応する必要があります。														
	当面の課題	令和6年度で計画期間の終期を迎えたことから、第2次計画の評価及び見直しを行い、第3次計画を策定しました。これまでの取組との整合を図り、切れ目のない健康づくりを推進していく必要があります。														
	改 革 計 画	健康づくりに関する国及び県の動きや社会情勢等の変化に柔軟に対応して見直しを行い、新しい課題への検討をすすめます。														
	二次評価者	健康増進課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善		
	二次評価での指摘事項	今後とも、関係機関との連携を強化し、課題の把握、分析や施策展開に活かしていく必要があります。														

No.	008	—	4006	事務事業名	保健衛生一般事務費（食育推進事業）										公的関与	1
PLAN	課 名	健康推進課		係 名	地域保健係		電話番号	089-964-4407		メールアドレス	kenkosuishin@city.toon.lg.jp					
	事業区分	ソフト事業			事業運営方法	一部委託		実施計画	該当	事業期間	平成 21 年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	1 みんなが元気になる健康福祉のまち			政策項目	1 生涯健康づくりの推進			主要施策	1 地域保健・地域医療体制の充実					
	事業の目的	関係課、関係団体と連携し、一体となって食育を推進するため。						根拠法令等	食育基本法、東温市食育推進会議条例							
	事業の手段	食育推進計画に基づく各種施策の実施状況の確認、委員からの意見を各部署につなげます。						掲載計画	東温市食育推進計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位		令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標			
		食育推進会議の開催	開催回数				回	目標	2	2	1	1				
								実績	2	2						
		広報等での周知啓発の回数	実施回数				回	目標	0	0	2	2				
								実績	0	0						
							目標									
実績																
DO	活動内容	①	食育推進会議の開催					④								
		②	広報等での周知啓発の回数					⑤								
		③														
	予算費目	会計	一般会計				費目名	衛生				費				
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備 考							
		国・県支出金	0 千円		0 千円		0 千円									
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円									
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円									
		一般財源	909 千円		3,129 千円		120 千円									
	計（A）	909 千円		3,129 千円		120 千円										
人件費（B）	正職員工数・経費	0.273 人	1,730 千円	0.380 人	2,446 千円	0.200 人	1,288 千円									
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費（A＋B）		2,639 千円		5,575 千円		1,408 千円										
CHECK・ACTION	一次評価者	地域保健係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善	
	項目	評 価 項 目 の 説 明 （一次評価者のコメント）														
	必要性	食育は行政以外の機関も取り組んでいますが、横断的な取組や関係機関同士の連携を推進するため、市が取りまとめる必要があります。														
	有効性	事業実施主体の目的や内容が計画と一致しないものがありますが、次期計画の策定作業で整合性を調整します。														
	達成度	第3次計画の指標は概ね達成しています。														
	効率性	食育に関する協議内容により、会議の運営について柔軟に対応する必要があります。														
	当面の課題	食育に関連する分野は幅広く、関係機関が取り組む事業等多岐にわたり、事業の目的や内容が計画推進に直接つながりにくい状況です。第4次計画が策定され、これまでの取組との整合性を図りながら食育を推進していく必要があります。														
	改 革 画	食育に関する国及び県の動きや社会情勢等の変化に柔軟に対応して見直しを行い、課題の検討をすすめます。														
二次評価者	健康推進課長		総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	方法改善		
二次評価での指摘事項		食育は継続して取り組まなければならない業務であり、食育推進会議を通じて関係機関の取組について共有し、可能なことから推進していく必要があります。														